

〈ハジワーストロード〉

花のまちづくり運動の一環として、また国道276号の通行車両のスピードダウン、交通安全を願ってスタート。マリールールやサルビアなどの花々が沿道1km以上にわたって咲く風景に、ドライバーの心もホッとなごむようです。植え込みから草取り、水やりまですべて町民のボランティアによって支えられ、「緑の環境づくり」で北海道知



など地域の情報発信の場として、札幌市と道南を結ぶ交通の拠点としての充実が期待されています。

〈メロン・トマト・花き〉

時代とともに変化する消費者のニーズを敏感にキャッチして、求められる農産物を確実に消費者の元へ。最近ではメロンやトマト、花きのハウス栽培が進み、年々収穫量を上げています。堆肥を利用した土づくりも行っており、安心して食べられる農産物を作ることに力を入れています。基幹産業である農業を効率的で安定的なものへ。喜茂別町は次世代に向けた農業のあり方を真剣に考えています。

事賞も受賞しました。

〈ふるっ温泉〉

平成8年8月にオープン。喜茂別町民公園内にあり、清掃協力金として一人200円程度で入浴できます。泉質はナトリウム・カルシウム塩化物泉で、神経痛や筋肉痛、冷え症、皮膚病、婦人病などさまざまな症状に効果大。病後の回復や健康増進にも期待でき、町内はもとより、町外からの



〈森のこま〉

平成7年度、全国の公共トイレの中からグッドトイレ10のひとつに選ばれた中山峠観光トイレの名称です。床面積277.73㎡の広々空間には、快適性と機能性を追及した工夫がほどこされ、爽やかさがポイント。例えば給水、冷・暖房、換気システムを完備し、車椅子ごと利用できる手すり付きブース、休憩ホールなども。まわりの環境に配慮し、排水再処理装置が設置されています。



利用も増えています。ポッカポカの温泉で、身も心もリラックスしてみてもいい。

【ま】

〈水の郷〉

尻別川や喜茂別川など大小いくつもの川が町内を流れています。特産品のホワイトアスパラガスの鮮度を保持するためには、清らかな水が不可欠で、採れたてのホワイトアスパラガスを羊蹄山や尻別岳の麓の湧水や地下水に浸す方法は、今も昔も変わりません。また長い年月をかけて浄化された湧水や地下水は町民の生活にも浸透し、毎日の暮らしにうるおいを与えています。

〈道の駅 望羊中山〉

平成5年4月22日に「道の駅」に登録されました。「道の駅 望羊中山」は、休憩・情報交流・地域との連携

【や】

〈羊蹄山〉

正式には「後方羊蹄(しりべし)山」といい、アイヌ語でマツカリヌプリ、またはマチネシリ(女山)と呼ばれます。北海道西南部随一の高さ(1,893m)を誇り、頂上まで4時間半位です。富士山を思わせる整った円錐形は、主に3回に及ぶ噴火で流れ出た溶岩によって形成されています。蝦夷富士の愛称で親しまれ、秀麗な姿をたたえる羊蹄山は自然の宝庫でもあり、野鳥130種類以上を確認。短い夏の間、高山植物が可憐な花を咲かせます。

